

プレスリリース

「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」

2016年7月17日（日）—11月6日（日）
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



「四角い液体、メタリックなメモリー」2014年
撮影：守屋友樹

お問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団 | 担当学芸員＝国枝かつら
〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1 | tel. 0877-24-7755 fax. 0877-24-7766 | <http://mimoca.org>

*当館公式サイト内「プレス向け情報」(<http://mimoca.org/ja/press/>)に画像をご用意しております。

【展覧会概要】

展覧会名：金氏徹平のメルカトル・メンブレン

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C、1階エントランス、ほか

会期：2016年7月17日（日）－11月6日（日） 会期中無休

開館時間：10:00－18:00（入館は17:30まで）

*8月27日（土）は21:00まで開館（入館は20:30まで）

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助成：一般財団法人自治総合センター、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

協賛：株式会社資生堂

観覧料：一般 950円 [760円] 大学生 650円 [520円]

* []内は前売り及び20名以上の団体料金

高校生以下または18歳未満・丸亀市内に在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料。

* 常設展観覧料を含みます。

*8月20日（土）、21日（日）は1階ゲートプラザにて「まるがめ婆娑羅まつり」開催のため観覧無料。
（当日は展示室内に音が響く場合があります。）

* 前売券販売場所：[丸亀]あーとらんどギャラリー（0877-24-0927）、オークラホテル丸亀（23-2222）
おみやげSHOP ミュー（22-2400）、きままや（22-9361）

【展覧会趣旨】

金氏徹平（1978-）の国内では7年ぶりの大規模な個展。展示空間を活かした大型インスタレーションを含む新作および未発表作を中心に構成するとともに、コラージュの延長線上としての「他者」との協同から制作の方法論を探り、あたらしい彫刻のあり方をこころみます。展覧会タイトル「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」を考案した小説家の長嶋有をはじめ、デザイナー、音楽家、俳優、観客たちと既存の役割を交換しながらつくり上げる本展は、個展の「個」の中にあらかじめ含まれている「他者」や、虚構や複製に現われる生々しさが捉えられるとともに、金氏の創造活動の現在進行形とさらなる展望を見出すものとなるでしょう。

【みどころ】

1. 金氏徹平の7年ぶりの大規模な個展

金氏徹平は1978年に京都府に生まれ、京都市立芸術大学院で彫刻を専攻。日常の事物を素材にコラージュ的手法を用いて作品を制作しています。2009年には30歳の若さで横浜美術館での個展を開催。近年では舞台美術でも経験を重ね、領域横断的な活動を展開しています。金氏徹平の国内では7年ぶりの大規模な個展です。

2. 展示空間を活かした大型インスタレーションと新作の数々

当館の建築を最大限に生かし、天井高7メートルのダイナミックな展示空間に、金氏にとってこれまでにない大作を展示予定です。出品作のほとんどは新作もしくは未発表作であり、金氏徹平の現在とその先を見出せる展示となるでしょう。

3. 個展の「個」に含まれる他者と、役割の交換

これまでコーヒーのシミや樹脂など、自らがコントロールできないものを好んで作品の素材として用いてきた金氏徹平。本展ではその延長線上として金氏が影響を受けた人びとや、影響を与えられた要素をコラージュにおける「部分」とみなし、切り取り、自らの作品に取り込んでいくことであらたな制作と展示のかたちを探り

ます。父親である金氏脩介（デザイナー）をはじめ、展覧会タイトルを考案した長嶋有（小説家）、出品作品を制作した青柳いづみ（俳優）らとの役割の交換は、金氏自身の思惑を逸れながら展覧会に変化をもたらします。また、チラシやポスターなど広報物のアート・ディレクションは金氏自身が手掛けます。

4. 毎月開催する関連イベントと変化を続ける展示作品

展覧会会期中、毎月イベントを開催します。展覧会に付随する催しとしてではなく、それぞれのイベントが展示作品に動きを与えていきます。オープニングパフォーマンス「オバケのスカルプチャー」から始まり、会期終了日に開催する「スカルプチャーのオバケ（積み木、雪だるま、バリケード）」まで変化を続け、最終日に展示の最終形をむかえます。

5. 展覧会カタログ

本展に際して、4冊組の展覧会カタログがナナロク社から出版されます。デザイナーは各冊で異なり、アート・ディレクションを金氏徹平がおこないます。展覧会に従属した従来の展覧会カタログのあり方を逸脱し、カタログと展覧会が相互に影響を与え合いながら制作が進められていきます。

『金氏徹平のメルカトル・メンブレン』 アート・ディレクション：金氏徹平

①ダンス譜としての彫刻制作のプロセス『オバケのスカルプチャーのレクチャー』

デザイン：名久井直子 出演：青柳いづみ テキスト：福永信

②漫画『コラージュ・ロマン・ユートピア』

デザイン：服部一成 漫画：金氏徹平

テキスト：倉石信乃、円城塔、オオルタイチ、岡田利規、木下龍也、柴崎友香、ウイスト・ポンニミット、松田青子、ほか

③インタビュー集『メルカトル・メンブレン インタビュー、対談、論文集』

デザイン：南大輔 対談：長嶋有×金氏徹平 インタビュー：坂本慎太郎×金氏徹平 論文：大森俊克

④展示ドキュメント『メルカトル・メンブレン・インスタレーション・ブック』（仮称）

デザイン：金氏徹平、有佐祐樹

【関連プログラム】

7月17日(日) 14:00-

オープニングパフォーマンス「オバケのスカルプチャー」

構成・演出：金氏徹平

出演：青柳いづみ、ほか（予定）

場所：3階展示室C

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です）

事前申込不要

7月18日(月・祝) 14:00-

鼎談 金氏徹平×長嶋有×福永信 「超訳！金氏徹平アワー」

場所：2階ミュージアムホール

定員：170名（先着順）

参加料：無料

事前申込不要

8月27日(土) 19:30-21:00

**プロジェクションマッピング 金氏徹平×青柳いづみ×山田晋平
「holes and buildings(MARUGAME)」**

場所：1階ゲートプラザ

参加料：無料

事前申込不要

*全館21:00まで開館します(入館は20:30まで)。

9月24日(土)、25日(日)

ワークショップ「オバケの迷彩」

講師：金氏徹平

日時：2016年①9月24日(土) ②9月25日(日) 各日10:00-12:00

場所：2階造形スタジオ、3階展示室C

申込締切：2016年9月14日(水)必着

*詳細は確定次第、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

10月8日(土) 15:00-

ライブパフォーマンス「タイチのためのスカルプチャー」(仮称)

構成・演出：金氏徹平

出演：オオルタイチ

場所：3階展示室C

参加料：無料(ただし観覧会チケットが必要です)

事前申込不要

11月6日(日) 15:00-

クロージングパフォーマンス「スカルプチャーのオバケ(積み木、雪だるま、バリケード)」

構成・演出：金氏徹平、contact Gonzo

出演：contact Gonzo、金氏徹平

場所：3階展示室C

参加料：無料(ただし観覧会チケットが必要です)

事前申込不要

会期中

「丸亀の街のZONESのholes」(仮称)

丸亀市内の店舗など、美術館の外にも作品を展示予定です。

*詳細は確定次第、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

会期中の日曜日

キュレーターズ・トーク

参加料：無料(ただし観覧会チケットが必要です)

事前申込不要

*他の関連プログラム開催日は実施いたしません。

【出品作家・作品紹介】

金氏徹平 | Teppei Kaneuji

1978 京都府生まれ

2001 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート交換留学

2003 京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了

2010- 京都市立芸術大学大学美術学部彫刻科講師

〈主な個展〉

2002 「空白と漂白」 児玉画廊、大阪

2007 「金氏徹平展 splash&flake」 広島市現代美術館
[ミュージアムスタジオ]

2009 「金氏徹平展：溶け出す都市、空白の森」 横浜美術館

2010 「Ghost in the Museum」 兵庫県立美術館

2011 「Ghost in the City Lights」 Eslite Gallery、台北
「POST-NOTHING」 Roslyn Oxley9 Galley、シドニー

2013-14 「Towering Something」 Ullens Center for
Contemporary Art、北京/chi K11 art space、上海

2014 「四角い液体、メタリックなメモリー」 京都芸術センター
「Endless, Nameless (Constructions)」、STPI、
シンガポール

「フライド幽霊とボイルド空想」 シュウゴアーツ、東京

2015 「SWEET PICKLED PHANTOM」 ONE AND J. GALLERY、ソウル
「DEEP FRIED GHOST」 JANE LOMBARD GALLERY、ニューヨーク



撮影：赤鹿麻耶

〈その他の主な活動〉

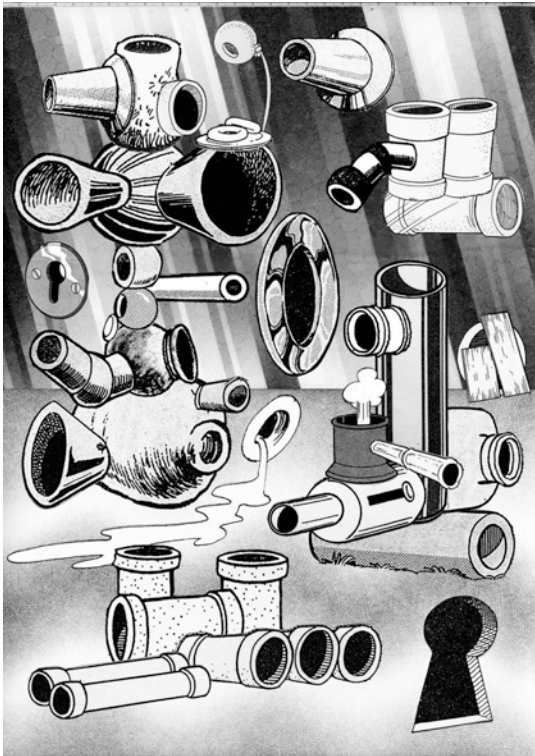
2011 あうるスポットプロデュース「家電のように解り合えない」 舞台美術、あうるすぽっと、東京

2013 Theater Company ARICA「しあわせな日々」 舞台美術、あいちトリエンナーレ 2013、愛知県芸術劇場

2015 KAAT キッズ・プログラム 2015「わかったさんのクッキー」 舞台美術、神奈川芸術劇場
青柳いづみ+金氏徹平+山田晋平 プロジェクションマッピング「holes and buildings」、豊田市美術館



『ホワイト・ディスチャージ（建物のようにつみあげたもの/丸亀）』（仮）、2016年 撮影：井上佐由紀



『ボイルド・デイドリーム(コラージュ・ロマン) #14』
2016年



『ゴースト・イン・ザ・リキッドルーム(化粧品) #14』
2016年



金沢21世紀美術館での展示風景、2015年 撮影：木奥恵三